公益財団法人
全日本空手道連盟　茨城県空手道連盟

祝 天皇杯・皇后杯

いきいき茨城ゆめ国体2019

天皇陛下御即位記念 第74回国民体育大会 翔べ 羽ばたけ そして未来へ

総合優勝祝賀会

本籍地：鹿児島県
生年月日：昭和38年4月10日
年齢：56歳
出身中学校：鹿児島市立明和中学校
出身高校：私立鹿児島高等学校
出身大学：日本大学 経済学部経済学科
職　場：東洋大学附属牛久中学校･高等学校 教諭
戦　績：第8回全国高等学校空手道選手権大会 個人組手 優勝

茨城県監督　**益田 史朗**

国体にかけて来た思い、大会当日の精神状態：

8年間、長かったようであっという間に過ぎたような気がします。
スーパーアドバイザーの香川師範、佐久本師範にはこれまで以上にお近付きになれ、多くの事を学びました。本当に感謝しかありません。
牛久市役所には本校卒業生の櫻井君から始まり、早川君、渡辺君、川渕君、そして、工藤奈那さんは牛久三中へ、市長や教育長はじめ板倉議員や池辺議員には大変お世話になりました。そして、色川先生をはじめコーチングスタッフの皆さん、事務局の川渕さんや礒さん、戸邊先生まで本当にお世話になりました。
この御恩は一生涯忘れる事はないでしょう。また、チームに付き添ってくれたいくみさんや椎名先生、本当にありがとうございました。
そして、あらゆる面から私を導いて下さった県の小松崎先生、本当に感謝しかありません。

国体終わっての思い、感謝の言葉など：

いよいよ、本番を迎え初日の皆の活躍にこれまでの苦労が走馬灯のように蘇り、涙が溢れました。中でも大腿四頭筋断裂の負傷を負いながら着実な空手で頂天を極めた真有美の姿、怪我を繰り返しながらも本番に焦点を絞って見事に努めを果たした兄隆嘉の執念と、隣のコートで雄叫びをあげていた飯村の姿を目の当たりにして義父の釜先生と4人で抱擁し涙した事はこの上無い喜びでありました。
また、想いもよらぬ大活躍の丈士がその突進力で優勝した姿は想像を絶するものでした。残念ながら関東を制した裕樹が得点に繋がらなかったことが唯一の心残りでした。
2日目の秀元、千夏、風太、颯綺の快進撃は最後まで誰にも止められないかと思う程の素晴らしさ、堂々の準Ｖに輝きました。そして、鈴乃と斗夢の3位入賞は安堵と達成感に包まれ心地良い記録となりました。これで団体に点数が付けば総合優勝に届く記録かという状態に益々興奮を覚えました。2日目、団体二回戦を勝ち抜き、真有美のフォローを形選手の千夏が成し遂げ勢いに乗りました。
最終日は、最大のライバル熊本を撃破し、ここで得点。総合優勝を決めました。しかし、頭は次の埼玉を下し決勝まで駆け上がる予定でしたが、ここでチームは力尽き泣き崩れる選手達にかけてあげる言葉が見つかりませんでした。全ては監督である私の責任。残念でしたが、それでも最高のチームに恵まれた私の空手人生の集大成が幕を閉じました。大会にあたりあらゆるサポートの皆様に感謝し、私の生涯の宝となったこの茨城国体に心から感謝します。

今後の目標、将来の夢：

自分の後進を育て、早く一線から身を引くこと!?
なかなか難しいけど高校の頂点も引退までには成し遂げたい夢です。

組手スーパーアドバイザー
香川 政夫 師範

形スーパーアドバイザー
佐久本 嗣男 師範

代表選手紹介

● 少年女子 形　第2位　　石塚 颯綺

本籍地：茨城県　生年月日：平成15年10月1日　年齢：16歳

出身中学校：取手市立藤代中学校

在籍高校：東洋大学附属牛久高等学校 1年生

戦　績：第26回全中 5位、第46回インターハイ ベスト16、第74回茨城国体少年女子 形 2位

国体にかけて来た思い、大会当日の精神状態：

『中学一年の時に国体強化選手に選ばれ、茨城国体に出るのを夢見て、たくさんの方の協力を得ながら練習して来ました。』
『国体当日は、最初は緊張しましたが、緊張も減っていき、自分なりに集中出来たと思います。』

国体終わっての思い、感謝の言葉など：

『思った以上の成績で自分でも驚いています。不器用な自分に、諦めずに指導して頂いた、沢山の先生方、サポートしてくれた家族に、とても感謝しています。』

今後の目標、将来の夢：

『今は自分の体を、思うように動かせない病気になりましたが、治る病気なので、今まで以上に自分身体を操れるようにリハビリを頑張りたいと思います。』
『将来の夢は、空手を続けながら看護師または理学療法士になることです。』

● 少年男子 形　第2位　　赤坂 風太

本籍地：神奈川県厚木市　生年月日：平成14年10月31日　年齢：17歳

出身中学校：厚木市立林中学校

在籍高校：東洋大学附属牛久高等学校 2年生

戦　績：第45回全国高等学校空手道選手権大会個人形 ベスト16（高校1年）
第23回全国中学生空手道選手権大会団体形　優勝（中学1年）
第25回全国中学生空手道選手権大会団体形 優勝（中学3年）
第25回全国中学生空手道選手権大会団体組手 第3位
第18回・第19回・第20回関東中学生空手道選手権大会団体形 優勝

国体にかけて来た思い、大会当日の精神状態：

『東洋大牛久高校への入学前から、国体へ向けての県強化練習に参加させて頂き、そこで茨城県のスーパーアドバイザーとして指導されている佐久本先生と出会い、国体をしっかりと目指すようになりました。国体優勝を目指し、国体までの間、沖縄の佐久本先生の所へ練習に行かせて頂いたり、香川先生に指導して頂いたり、多くの先生方や保護者の皆様の力を借りて、とても凄い経験や成長が出来たので、その恩返しは国体で自分の持っている力を発揮し、良い結果を残す事であると感じ、茨城県の代表として責任を持って国体へ臨みました。』
『大会当日は緊張もありましたが、多くの声援を頂き、絶対勝つと言う気持ちが強くなり過去1番の形が練習の時から出来ました。結果は決勝戦で負けてしまい準優勝でしたが、試合本番では良い形がうてたと思います。』

国体終わっての思い、感謝の言葉など：

『国体が終わり、自分の形の成長を感じる事が出来たと思います。決勝戦では負けてしまいましたがとても嬉しかったです。スーパーアドバイザーの香川先生、佐久本先生の指導をもう強化練習で受ける事が出来ないと思うと寂しく感じます。』
『これまで指導、サポートして頂いた先生方や、国体スタッフの皆さん、応援に来て頂いた皆さんのおかげで、このような結果が残せたと思います。本当にありがとうございました。』

今後の目標、将来の夢：

『今後の目標は、さらに上を目指し、茨城国体だから勝ったと周りから言われぬように、全国選抜大会、インターハイでの優勝目標に日々努力して行きたいと思います。応援よろしくお願いします。』

● 少年女子 組手　第3位・団体組手 第5位　篠原 鈴乃

本籍地：栃木県佐野市　生年月日：平成14年3月13日　年齢：17歳

出身中学校：佐野市立北中学校

在籍高校：東洋大学附属牛久高等学校 3年生

戦　績：第27回関東選抜個人組手重量級優勝
第47回関東大会個人組手 ベスト8
第37回全国選抜団体組手 ベスト8

国体にかけて来た思い、大会当日の精神状態：

『何がなんでも勝って益田先生を日本一の監督にすると言う思いで必死に挑みました。』
『大会当日は緊張もあったけど今までやってきたことが試合でどれだけ成果として出るか楽しみで仕方なかったです。』

国体終わっての思い、感謝の言葉など：

『優勝することはできず悔しい思いをして終わってしまったけれどやり切れたことに悔いはないです。』
『自分だけの力じゃなくてほんとに周りがあってこその結果だったので本当にありがとうございました！』

今後の目標、将来の夢：

『大学でも日本一目指してさらなる高みに向かって、もっともっと強くなれるように頑張ります！』

● 少年男子 組手　第3位・団体組手 第5位　菅谷 斗夢

本籍地：茨城県　生年月日：平成15年1月27日　年齢：16歳

出身中学校：笠間市立友部第二中学校

在籍高校：東洋大学附属牛久高等学校 2年生

戦　績：第46回全国高等学校総合体育大会空手道競技の部 第5位
第38回全国高等学校空手道選抜大会中量級 第5位
剛柔関東大会 第1位

国体にかけて来た思い、大会当日の精神状態：

『選んで頂いた期待に応えたいという気持ちで気持ちは高ぶっていました。』

国体終わっての思い、感謝の言葉など：

『関係各位の皆様のおかげで3位入賞することができて感謝しております。』

今後の目標、将来の夢：

『全国制覇、安定の職に就くこと』

● 成年女子 形　第2位・団体組手 第5位　遠藤 千夏

本籍地：埼玉県　生年月日：平成5年6月26日　年齢：26歳
出身中学校：上尾市立大石南中学校
出身高校：水城高等学校
出身大学：帝京大学
職　場：光明相模原高等学校職員
戦　績：沖縄プレミアリーグ-50Kg級 優勝
第46回全日本選手権大会形 2位
全日本大学団体形 4年連続優勝

国体にかけて来た思い、大会当日の精神状態：

『益田先生を優勝監督にする。』
『大会当日、いつも通りやれば大丈夫と言い聞かせてるのにプレッシャーで体が思うように動いてくれなくて苦しかった。』

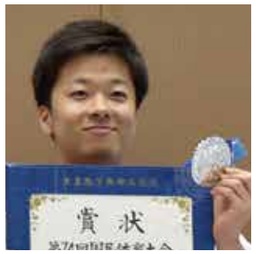
国体終わっての思い、感謝の言葉など：

『国体が終わって、たくさんやってきた練習会もなくなり嬉しい気持ちと寂しい気持ちがあった。』
『こんなに仲間と一緒に戦えたことが本当に嬉しかった。
スタッフの方々がとても暖かくて寝る間をおしんでサポートしてくれて本当に感謝でいっぱいです。』

今後の目標、将来の夢：

『形で日本1、組手で海外の試合で優勝するように挑戦していく。』
『今は光明高校を日本1にさせる。』

● 成年男子 形　第2位　栗原 秀元



本籍地：茨城県　生年月日：平成5年10月7日　年齢：26歳
出身中学校：見川中学校
出身高校：水城高等学校
出身大学：駒澤大学
職　場：水戸市役所
戦　績：内閣総理大臣 第62回全国空手道選手権大会 個人形 優勝
第２回アジア･オセアニア空手道選手権大会 個人形 優勝
第74回いきいき茨城ゆめ国体 成年男子 形 準優勝

国体にかけて来た思い、大会当日の精神状態：

『自分1人では出場すら逃していました。昨年のミニ国の選考会、肉離れの中アップをしていると益田先生に心配され、もういいよと、声をかけられましたが、見放された気がしました。村田くんの存在が大きくなり、福田先輩といっそう頑張ろうと、思いました。必死で怪我を治し、死に物狂いでした。今年の国体予選、結果は2位だった時悔しかったですが、怪我明けにしては良くやった、と自分を励ましました。先生、コーチ陣、アドバイザーのお二人に沢山指導を受け、ミニ国では初優勝を飾れました。国体出場を決めた時、千夏、真有美に少しは追い付けたかなと、ホッとしました。国体まではプレッシャーとストレスで忙しく、当日はただやるだけでした。チャレンジャーとして出来ましたが、欲が少し足りなかったのが、あと一本の旗に繋がらなかったかもしれません。』

国体終わっての思い、感謝の言葉など：

『試合が終わり、慌ただしい日常が戻りつつ様々な指導のお話や、お祝いの言葉、お礼などさらに忙しくなりました。ここまで来れたのは周りの支えが必要不可欠でした。仲間の励ましが無ければ挫折していました。本当に感謝しています。これからも頑張っていきたいと思います。同期、先輩、先生方、ご父兄の皆さん、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。』

今後の目標、将来の夢：

『今後の目標はまた国体、全日本と出場していければと思います。また、空手協会の試合でも兄を超える成績を残し、引っ張っていける存在となりたいと思います。後は結婚の際は是非皆様をお招きしたいと思います。
今後とも宜しくお願いします。』

● 成年女子 組手　優　勝・団体組手 第5位　染谷 真有美

本籍地：茨城県　生年月日：平成5年5月30日　年齢：26歳
出身中学校：古河市立古河第三中学校
出身高校：花咲徳栄高等学校
出身大学：帝京大学
職　場：茨城県競技力向上対策本部
戦　績：第22回世界空手道選手権大会-61kg級 3位
第59回全日本学生空手道選手権大会 優勝
第74回国民体育大会 成年女子 組手 優勝

国体にかけて来た思い、大会当日の精神状態：

『大会当日はコンディションが万全の状態ではなかったため、今の自分にできる戦い方に徹して、必ず勝つという覚悟を決めました。ここまできたらやるしかないと開き直り、落ち着いていたと思います。』
『一試合一試合、監督についてくださる益田先生やコートサイドで応援してくれる仲間、家族に励まされながら、体は動きませんでしたが、精神力だけで最後まで戦い抜き、優勝することができました。』

国体終わっての思い、感謝の言葉など：

『何年もかけて初優勝できたことの喜びよりも、みんなで支えあって地元国体を乗り越えたことの達成感の方が何倍も大きかったです。これまでの過程を思い出し、茨城強化の先生方やトレーナーの先生方、ご父兄の皆様の温かい支えに感謝の気持ちでいっぱいでした。最終日の試合が終わった時、溝部先生から全員に向かって『ありがとう』と声をかけていただいたとき、全てが終わったんだと実感し、涙が止まりませんでした。』
『兄と優勝できたことは私の一生の思い出です。私は兄の存在に支えられて、ここまで空手を続けてくることができました。苦しい時に、兄も頑張っているんだと思うと力が湧きました。自分を信じて困難に立ち向かい、最後の地元国体という大舞台で夢を実現させた兄はこれからも私の憧れです。両親に2人揃って優勝する姿を見せることができ、最高の恩返しをする事が出来たと思います。』
『そして、同期の遠藤は次の日に自分の試合が控えているにも関わらず、アップ場でも、コートサイドでもずっと私のサポートをしてくれました。団体戦では怪我をしてしまった私に代わって、必死に戦ってくれました。みんなと団体戦に出られなくて申し訳ないという気持ちをかき消してくれるくらい、楽しそうに組み手をする姿に心が救われました。』
『今までずっとお互い励ましあいながら頑張ってきた仲間と、共に戦えたことがとても心強かったです。みんなに感謝しています。』

今後の目標、将来の夢：

『2020年東京オリンピックに姉と2人で出場し、優勝することです。必ず達成するために、人生をかけて最後まで戦い抜きます。』

● 成年男子 組手 軽量級 優　勝・団体組手 第5位　藤原 丈士

本籍地：埼玉県　生年月日：平成12年1月20日　年齢：19歳

出身中学校：埼玉県越谷市立富士中学校

出身高校：東洋大学附属牛久高等学校

在籍大学：帝京大学 2年

戦　績：第74回国民体育大会 成年男子組手 軽量級 優勝

国体にかけて来た思い、大会当日の精神状態：

『初出場で地元国体だったのでとても緊張しましたが、なんとしても優勝を勝ち取ってやろうという思いで臨みました。初めてのしっかりとした減量で動けるかとても心配で今までにない緊張感でした。』

国体終わっての思い、感謝の言葉など：

『大きな大会で優勝することが初めてだったので素直に嬉しかったです。ですが、団体戦で勝ち切ることができなかった事がとても悔しいです。
今回良い成績を残せたのは決して自分一人の力ではありません、支えてくださった全ての方に感謝の気持ちでいっぱいです。』

今後の目標、将来の夢：

『今後は国体で優勝したことに自信を持ち大学の試合で優勝をかちとることを目標に頑張ります。応援してくださる人の期待を裏切らぬよう日々精進していきます。』

● 成年男子 組手 中量級 優　勝・団体組手 第5位　染谷 隆嘉

本籍地：茨城県　生年月日：平成元年8月21日　年齢：30歳

出身中学校：古河市立古河第三中学校

出身高校：東洋大学附属牛久高等学校

出身大学：日本大学

職　場：警視庁

戦　績：関東体重別 優勝
関東学生個人 準優勝
全日本学生個人 優勝

国体にかけて来た思い、大会当日の精神状態：

『地元で現役最後の年で迎えられることを大変嬉しく感じるとともに負けられないプレッシャーが大きかった。
しかし、当日は吹っ切れて最後の大舞台楽しんで思い切りやろうと思えた。』

国体終わっての思い、感謝の言葉など：

『正直寂しい気持ちもありますが、達成感でいっぱいです。途中で国体前に挫折しそうになったこともありましたが、叱咤激励を受けなんとかやりきることができました。
応援してくださり、また支えてくださって本当にありがとうございました。』

今後の目標、将来の夢：

『今後は職場や後輩たちに空手の指導をしていき、妹、後輩たちの活躍を願い応援していきたい。』

● 団体組手 第5位　福田 裕樹

本籍地：東京都　生年月日：平成6年7月1日　年齢：25歳

出身中学校：砧南中学校

出身高校：東洋大学附属牛久高等学校

出身大学：帝京大学

職　場：綜合警備保障（ALSOK）

戦　績：第50回関東空手道選手権大会 優勝
第44回 全日本空手道選手権大会(天皇盃・皇后盃)男子団体組手準 優勝
第27回関東学生 空手道体重別選手権大会 優勝

国体にかけて来た思い、大会当日の精神状態：

『今回の国体はまず出られるとも思ってなく出れると決まったときはやってやると思いました。試合当日は初めての国体というのもあり、独特な雰囲気を感じました。』

国体終わっての思い、感謝の言葉など：

『自分の試合の番が来てこれまでにないすごい応援でどうしてもそれに応えたかったですが結果で恩返し出来なくて申し訳ない気持ちでいっぱいです。今回の国体に携わって頂いたみなさまには本当に感謝しています。』

今後の目標、将来の夢：

『国体が終わって自分の空手人生が終わった訳ではないので国体地元選手という貴重な経験ができたのでこれをいかして次はチーム茨城に貢献して皆様に結果で恩返しして見せますので今後もご声援よろしくお願いします。』

● 成年男子 組手 重量級 優　勝　飯村 吏毅哉（熊本県代表）

本籍地：茨城県　生年月日：昭和63年9月12日　年齢：31歳

出身中学校：つくば市立谷田部中学校

出身高校：東洋大学附属牛久高等学校

出身大学：大正大学

職　場：（有）綱田牧場

戦　績：WKF世界選手権（団体）銅　WKF世界選手権（団体）銀　AKFアジア選手権（団体）金
EAKF東アジア選手権（団体）金　内閣総理大臣杯全国空手道選手権大会 優勝
船越義珍杯世界空手道選手権大会 優勝　第74回国民体育大会 成年男子組手 重量級 優勝

国体にかけて来た思い、大会当日の精神状態：

『熊本代表としての優勝が生まれ故郷茨城の皆さん、そして日頃お世話になっている熊本の皆さんに恩返しできる唯一の場所であると言う思いで挑んだ大会であった。当日は多方面からの応援のお陰で自分が主役だと言う気持ちで一戦一戦で戦えた。』

国体終わっての思い、感謝の言葉など：

『茨城国体での優勝が夢であり目標でもあっただけに優勝が決まった瞬間感無量でした。茨城代表として出るはずだった茨城国体ですが結婚を機に熊本へ移住した為、熊本代表として出場する本当に特別な大会でした。これまで沢山の方々に支えられ今日まで空手道を続ける事ができました。でなければ、この大会には辿り着けていないでしょう。本当に皆さんの支えがあったお陰での優勝であると改めて感じております。ありがとうございました。』

今後の目標、将来の夢：

『現役引退』
『これからは未来ある子供達に全力の愛を注ぎます！指導者として頂点を目指し、第二の空手道人生のスタートを初心に帰りまた一から進んでいきます！
今まで本当にありがとうございました。またこれからも新たな飯村を宜しくお願いします。』

茨城県コーチ陣

ヘッドコーチ
色川　智

本籍地：　茨城県　生年月日：昭和47年12月23日　年齢：47歳
出身中学校：谷和原中学校
出身高校：私立江戸川学園取手高等学校
出身大学：日本大学 文理学部 体育学科
職　場：株式会社 IS transport
戦　績：1990 インターハイ団体3位
1991 全日本学生空手道選手権大会　団体優勝
1994 愛知県わかしゃち国体　成年男子個人組手 2位
2001 宮城国体 団体組手２位

国体にかけて来た思い、大会当日の精神状態：
『全種目上位入賞』『大会当日は現役時代よりも正直緊張しておりました。』

国体終わっての思い、感謝の言葉など：
『各選手へプレッシャーに負けず最後まで頑張ってくれた事に感謝です。最高の思い出にありがとうの一言です。』

今後の目標、将来の夢：
『全国、世界で活躍できる選手を育てる事』

強化コーチ
木村 隆弘

本籍地：　茨城県
出身中学校：下妻市立下妻中学校
出身高校：水城高等学校 空手道部
出身大学：大正大学 空手道部
職　場：株式会社石匠の武蔵　代表取締役
戦　績：第18回全国高等学校空手道選手権大会 総合優勝

国体にかけて来た思い、大会当日の精神状態：
『茨城国体では強化コーチとして茨城県チームの裏方として少しでも役に立てればとの思いで努めさせていただきました。』

国体終わっての思い、感謝の言葉など：
『結果男女共に総合優勝を取ることができ感無量です。』

今後の目標、将来の夢：
『現在、私は茨城を離れておりますが生まれ故郷で学んだ教えをこれからも伝えていきたいと思います。』

強化コーチ
粟野 和也

本籍地：　茨城県　生年月日：昭和53年11月1日　年齢：41歳
出身中学校：古河市立古河第二中学校
出身高校：東海大学附属望星高等学校晃陽学園校
出身大学：国際武道大学
職　場：株式会社アンツ
戦　績：第6回 船越義珍杯争奪世界空手道選手権大会個人組手 第5位
団体組手 第3位

国体にかけて来た思い、大会当日の精神状態：
『一生に一度の地元茨城国体。仕事などの都合で強化練習に参加出来ないこともありましたが参加出来た日はチーム茨城一丸となり厳しい練習に耐え国体に向けて気持ちを高めて行きました。』
『国体当日は7年前から厳しい強化練習をしてきた選手達を信じて大会終了後、監督の益田先生をみんなで胴上げすることしか頭にありませんでした。』

国体終わっての思い、感謝の言葉など：
『地元茨城国体で天皇杯皇后杯を獲れて本当に良かったです。選手達はもちろんスタッフ一同、地元開催というプレッシャーに負けずに本当にチーム茨城一丸となって頑張れたと思います。
地元茨城国体にコーチとして参加出来た事を誇りに思います。
関係者の方々、本当にありがとうございました。』

今後の目標、将来の夢：
『日本一の道場を目指します！』

強化コーチ
平山 真也

本籍地：　鹿児島県　生年月日：昭和58年5月27日　年齢：36歳
出身中学校：国分市立国分南中学校
出身高校：晃陽学園高等学校
出身大学：帝京大学
職　場：綜合警備保障（株）
戦　績：第17回世界空手道選手権大会（団体戦出場）
第19回世界空手道選手権大会（個人戦出場・団体戦出場）
第8回アジア空手道選手権大会（個人戦出場・団体戦優勝）

国体にかけて来た思い、大会当日の精神状態：
『地元国体として内容も結果も求められる中で、組手になりますが、前年度まで練習で動きは良くても、いざ大会になると空回りして結果に伴わない選手が多数見られましたが、国体1ヶ月前の関東空手道選手権大会で代表選手は、攻めの姿勢、集中力、代表としての自覚と自信が見られました。大会当日はその姿が自信となり特に不安はありませんでした。』

国体終わっての思い、感謝の言葉など：
『組手競技団体戦な5位という結果で悔しい気持ちはありますが、総合優勝も出来ましたし、8年間茨城県のスタッフとしてやってきたので地元国体が終わりホッとしています。個人的になりますが、染谷隆嘉選手とは12年前の秋田国体から選手としてお互いやってきていますので大変な苦労もあったと思いますが結果に結びつきよく頑張ったと、茨城を引っ張ってくれたと思います。
そして、茨城国体が無事に終わり溝部理事長をはじめ連盟の先生方、強化益田監督、スタッフ、選手、関係者各位に感謝と御礼を申し上げます。』

今後の目標、将来の夢：
『今後は所属一つ、茨城県で培った力で空手の普及と発展に努めていきます。弊社も5人から始まった部も今では公益財団法人全日本空手道連盟様のサポーターにもなり当時を振り返るとこうなると思ってもいませんでした。
目標は強化選手の各大会で結果を出すこと。部員全員での東日本実業団・全日本実業団優勝。西日本の部員を増やし、西日本連盟にも加入し西日本実業団からも出場すること。グループ社での部を増やすこと（現在、北関東綜合警備保障（株）、沖縄綜合警備保障（株）で出場）。選手での各地域の練習会など増やし、地域貢献・社会貢献に努めていくことです。』

強化コーチ
早川 竜司

本籍地： 茨城県ひたちなか市　生年月日：昭和63年4月15日　年齢：31歳
出身中学校：佐野中学校
出身高校：東洋大学附属牛久高等学校
出身大学：東洋大学
職　場：牛久市役所　国体推進課

国体にかけて来た思い、大会当日の精神状態：
『天皇杯・皇后杯獲得』

国体終わっての思い、感謝の言葉など：
『監督・選手、関係者の方々に大きな怪我も無く終えた事に感謝しております。ありがとうございました。』

今後の目標、将来の夢：
『幸せな家庭を築く』

強化コーチ
渡辺 勝裕

本籍地： 茨城県稲敷郡阿見町　生年月日：平成2年4月12日　年齢：29歳
出身中学校：阿見町立竹来中学校
出身高校：東洋大学附属牛久高等学校
出身大学：東洋大学
職　場：牛久市役所　国体推進課

国体にかけて来た思い、大会当日の精神状態：
『寝不足』

国体終わっての思い、感謝の言葉など：
『運営側として、選手たちの活躍により天皇杯皇后杯獲得ができ心より嬉しく思います。』

今後の目標、将来の夢：
『億万長者』

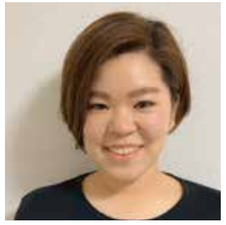
チームドクター
椎名 志津男

本籍地： 茨城県　生年月日：昭和43年9月28日　年齢：51歳
出身中学校：取手第一中学校
出身高校：江戸川学園取手高等学校
出身大学：日本大学
職　場：しいな整骨院　院長
戦　績：第12回アジア競技大会(広島) -75kg級 優勝
第12回世界空手道選手権大会（マレーシア） -70kg級 優勝
第23回全日本空手道選手権大会 組手の部 優勝

国体にかけて来た思い、大会当日の精神状態：
『高校時代からの憧れで尊敬する益田先輩の率いる茨城国体チームの選手サポートに貢献すること』

国体終わっての思い、感謝の言葉など：
地元の茨城国体メディカルスタッフとして、しいな整骨院スタッフ一同、参加させていただき、貴重な経験を積むことができました。深く感謝申し上げます。微力ではありますが、チームの勝利に貢献出来たことを嬉しく思います。』

今後の目標、将来の夢：
(1)アスリートサポート強化
(2)マスターズ陸上競技100m走 70歳以上の部 3位入賞



チームドクター
髙橋 いくみ

本籍地： 東京都町田市　生年月日：平成3年4月27日　年齢：28歳
出身中学校：つくば市立谷田部中学校
出身高校：東洋大学附属牛久高等学校
出身大学：帝京科学大学
職　場：ハートウェーブ訪問看護リハビリステーション

国体にかけて来た思い、大会当日の精神状態：
『選手がベストコンディションで試合を迎えられるよう、縁の下の力持ちに徹してきました！』

国体終わっての思い、感謝の言葉など：
『トレーナーに就かせていただいて6年、まだまだ未熟ですが選手からたくさんの事を学び、私自身も一緒に成長できました。素晴らしいチャンスをくれた益田先生はじめ選手、関係者の皆様に感謝します。』

今後の目標、将来の夢：
『障害予防の知見を深め、怪我で悩む人が減るよう活動していきたいです！』

選手達の不屈の闘志と仲間の強い絆によって頂へ―

そしてつぎなる頂へ。